



木田小だより

すずかけ



木田小学校
令和5年5月
文責(校長・教頭)

災害に備えて 避難訓練を行いました

5月16日(火)に、「大きな地震が発生し、その後家庭科室から出火した」という想定で避難訓練を行いました。地震発生の場合で身を守る行動をとり、避難指示の放送を受けてグラウンドに避難しました。約6分間で、避難を完了して全員の無事を確認することができました。

今年は、3,700人余りの犠牲者が出た福井地震から75年になります。この間、県内では大きな損害を被る地震は発生していませんが、いつ起こるかわからないのが地震です。連休中の5日には、能登半島の珠洲市で震度6強の地震が発生し、福井市内でも大きな揺れを感じました。自分や周りの人たちの命を守るために、様々な場面で「今、地震が起こったら…」「緊急地震速報がなったら…」と考え、いざという時に的確に判断し、行動できるようにしておくことが大切です。今後も安全教育を進めるとともに、様々な状況を想定した訓練を実施していきます。ご家庭でも、災害時の行動について話題にしてくださいようお願いします。

5月27日(土)には、授業参観に続いて「児童引き渡し訓練」を実施します。緊急時に備えて、保護者の皆様のご協力をお願いします。また、6月には地区防災訓練が予定されています。防災について考える機会として、お子様と一緒に参加されてはいかがでしょうか。



南消防署の方のお話を聞きました

緑が濃くなる季節になりました

5月も半ばを過ぎ、一気に気温が上がってきました。5月21日は二十四節気のひとつ「小満」でした。草木が茂って天地に満ち始めるという意味だそうです。校庭のスズカケノキ(鈴懸の木)の緑も濃くなり、心地よい日陰をつくっています。

中庭では、1年生のアサガオ、2年生の野菜(ミニトマト・ナス・ピーマン)の栽培活動が始まりました。毎朝水やりをしながら、「芽が出てきたよ」「トマトの花が咲いたよ」と、変化に気づき成長を喜ぶ姿が見られます。1・2年生では、このような活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとする気持ちを育てていきます。



校庭の「スズカケノキ」です

令和5年度のスクールプランを策定しました

本校は「心をみがき 学に勉め 自己を拓く 木田っ子の育成」を学校教育目標として掲げています。福井市学校教育方針「学びをつなぐ・未来につなげる ～『つながる』を大切にしたい学校づくり～」を受けて、本年度は「探究心をもって自ら学ぶ子の育成」を研究主題としました。探究心を育む授業づくりに取り組み、家庭・地域とのつながりを大切にしながら心や身体の健やかな成長を支えていきます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を何卒お願いします。なお、スクールプランは裏面のとおりです。